



ふじ むらさき
諫高だより **藤 紫**

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957 (22) 1222 FAX 0957 (22) 5104

<http://www.isahaya-highschool.ed.jp>

「学校が楽しい」

校長 福島健一郎

インドの北部にあるウッタル・プラデーシュ州、アリナガル村の話です。人口はおよそ千人。主な産業は米作りを中心とした農業です。村のもう一つの代表的な産業は、インドの伝統衣装サリーの生産です。他にこれといった産業がない中で、はた織りは村人にとって貴重な収入源です。このはた織りの重要な担い手が子どもたちです。サリーの細かい模様を紡ぎ出すときは子どもの手伝いが欠かせません。

インドの義務教育は小学校が5年、中学校が3年です。しかし仕事や家の手伝いのために半分ぐらいの子どもが途中で学校をやめてしまいます。インドでは、こうした学校に通わない子どもたちがおよそ6千万人いるといわれています。

インド政府は子どもたちが働かなくても済むように、奨学金がでる学校「児童労働者学校」を創りました。

ここ「アリナガル村児童労働者学校」では、5才から11才の子どものうち50人が選ばれて学び始めています。

11才になるアフローズ君は、初めてアルファベットで自分の名前を書いてみました。自分の名前がアルファベットになって綴られることに新鮮な驚きを感じました。読むことや書くこと、アフローズ君はこれまで知らなかった世界の扉を一つまた一つと開いて行きます。

「勉強は楽しいです。勉強に関することは、何でも楽しいです」と目を輝かせます。アフローズ君は、この村で生まれ育ちました。お父さんは、はた織り機の糸をセットする職人です。しかし不定期な仕事で収入が安定しません。お母さんはこの何年か体調がすぐれません。両親とアフローズ君を筆頭に7人兄弟がこの家で暮らしています。

年長の妹二人が家事をします。炊事や洗濯に加え、小さな兄弟の面倒も見ます。幼い兄弟の最年長であるアフローズ君は、一家の期待の星です。教育を受けたことがない両親は、毎日生き生きと勉強しているアフローズ君を見て息子の将来を頼もしく思っています。

お母さんは「家では、2、3日食べるのにも困っています。それでも子どもを1年勉強させました。少しでも勉強して、いい仕事に就いて食べて行けるように願っています」と子どもの将来を期待しています。

教室から聞こえるにぎやかな声につられて教室の窓や扉の外には、沢山の子どもたちが溢れています。学校には来ることが出来ない子どもたちも、先生のお話を楽しみにしているのです。アフローズ君の7才の妹パルジャーナちゃんもその1人です。

「お兄ちゃんといっしょに学校に行きたい」と幼心ながら、切ない願いを持っています。奨学金がでるのは、今のところ1つの家庭から児童1人だけなのです。

パルジャーナちゃんは、毎日およそ4時間はた織りの仕事をしています。彼女の小さな手が紡ぎ出す月200ルピーの賃金は、貧しい家計を助けているのです。パルジャーナちゃんには、まだ学ぶ機会は与えられていません。

パルジャーナちゃんと同じように学校に登録されていないアスガル君は、みんなと一緒に勉強したくて毎日学校に来ています。どうしても学校で学びたい子どもは、こうしてクラスに潜り込んで勉強することを黙認されています。

学校に通うようになってアフローズ君は、少しずつ変わりはじめました。自分の名前が書けるようになり、知識に触れるうちに、今後の目標というものをぼんやりと持つようになったのです。勉強を続けるうちに、今は沢山の夢を持つようになりました。これまで無理だとあきらめていたことも勉強を続けていれば、いつかは出来るようになる。将来を自分の力で切り開いて行きたいと、考えるようになりました。

* * * * *

インドでのこのような話を聞くと、私たちは「何のために学ぶのか」、「何のために教えるかも一度このことを謙虚に考える必要がありそうです。

本校生徒がボランティアとして参加

—第6回長崎県障害者スポーツ大会—

去る5月28日(日)に開催された第6回長崎県障害者スポーツ大会に、本校生徒がボランティアとして参加し、大会成功に寄与しました。県立総合運動公園陸上競技場で行われた陸上競技に、陸上競技部の生徒10名が参加し、小野体育館で行われた卓球競技に卓球部と生徒会総務委員が参加しました。

本校は、「社会の一員としての自覚を持たせの福祉や社会の発展に貢献させる」ことを努力目標として掲げ、様々な形で、ボランティア活動に参加するよう指導しています。



陸上競技の補助をしている本校生徒
(県立総合運動公園陸上競技場にて)



卓球競技の補助をしている本校生徒
(小野体育館にて)

長崎県高総体の報告

平成18年度(第58回)長崎県高等学校総合体育大会(駅伝競技を除く)が、6月3日(土)から6月9日(金)まで長崎市を中心に開催されました。本校生徒は、日頃の練習の成果を発揮し立派な成績を収めてくれました。また、大会に先立ち行われた開会式では、118名の選手が堂々とした入場行進を行い、諫高生の意気を示しました。応援部や新聞部・写真部・放送部も大会の応援や記録に積極的に参加し、大会を盛り上げてくれました。



↑
入場行進する本校選手団

対瓊浦高戦で活躍する本校生徒→



本校各部の主な個人成績

陸上男子	1500m	延壽寺隆之	3位
	5000m	延壽寺博亮	1位
		新井 岳	3位
陸上女子	走高跳	榎嶋 公子	2位
	1500m	松永 明希	1位
		桐谷 瞳	2位
	3000m	松永 明希	1位
	800m	中村知可子	2位
	200m	徳永 恵実	3位
フェンシング男子	フルレ	中村 真大	1位
	エパ	吉野 克洋	2位
	サブル	中村 真大	1位
フェンシング女子	フルレ	東 夏海	2位
	エパ	川良 青惟	3位
	サブル	東 夏海	3位



↑ 力走する本校生徒

本校各部の主な団体成績

- フェンシング男子 準優勝
- フェンシング女子 準優勝
- 陸上女子 3位
- ソフトボール 3位
- テニス女子 ベスト8
- 弓道男子 ベスト8
- サッカー ベスト8



← 団旗返還

↑
懸命に応援する応援部

平成18年度総務委員・執行委員決定

平成18年度の総務委員長・総務委員および執行委員が決定しました。文化祭の企画・運営や生徒会誌「高城」の編集、生徒総会の運営などの仕事を行います。生徒会活動を活発にし、諫早高校をさらに発展させてくれることを期待します。 ↓ 総務委員・執行委員の皆さん



- 総務委員長
橋口真由子(2-2)
- 総務委員
今里 淳平(2-1)
柁木 花子(2-1)
高山 奈緒(2-2)
吉川 謙信(2-4)
浦山 準平(1-2)
武藤 杏里(1-3)
小森 浩貴(1-7)
中村 俊貴(1-7)
登 貴信(1-8)

行事予定

- 6月21日(水) 1年理数科ソニー研修・第1回中高連絡会
- 23日(金) 期末考査時間割発表 部活動中止
- 24日(土) 2年理数科原子力発電所見学・3年進路講演会
- 27日(火) 防災訓練
- 30日(金) 期末考査(～5日)
- 7月 3日(月) 3年進路検討会(～5日)
- 8日(土) 1, 2年校外実力・3年模試
- 9日(日) 3年校外模試
- 10・11日(月・火) クラスマッチ
- 13～18日(木～火) 全学年三者面談
- 19日(水) 3年理数科課題研究発表会

